

○津波の高さが3mというのは、大阪における津波の高さのことか？

→大阪における津波の高さのこと

○過去と現在では、土地の具合がかなり変わっているだろうから、津波の到達具合も変わるのではないか？

→おそらく変わっているであろう。現状での津波の高さの予想が3mあるいは5mである。

○南極半島も新期造山帯だが険しいのか？変動があった時は、氷床が崩れることがあるのか？

→新期造山帯なのは南極半島の一部ではないか？氷床に覆われていると険しいかどうかは分からない。地震が発生すれば、氷床に影響はあるであろうが、崩れるかどうかは崩れるの言葉の定義による。

○変動帯の中でも、北アメリカ大陸の西岸部ではあまり大規模な地震が起きていないようであるがどうしてか？

→地震は起きているが記録されていないため。北アメリカ大陸の西岸部で地震が記録されているのは、ヨーロッパ人の侵入以降の最近300年くらいに限られる。このため、実際には多くの地震が起きているが、記録が少ないので、被害が起っていないようにみえる。

○地平線は変動帯以外では割とよく見られるということか？

→地形条件だけでいえば、変動帯以外の方が地平線はよく見える。

○新期造山帯では、侵食より盛り上がる作用（隆起）が大きいとのことであるが、どれくらいか？

→隆起量も侵食量も、大きなところでは1mm/年くらいになる。

\*古期造山帯のように昔に海が盛り上がったところでは、鉱物が多くあると思う。海底のプレート境界においても鉱物が多いのか。

→プレート境界付近には、さまざまな鉱床がみられるが、どうして昔に海が盛り上がったところでは、鉱物が多くあると思ったのか？